



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-52-2
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

ナルク横浜第19回定時総会開催 平成25年度の活動方針を決定 !!

書記 小澤 好幸

第19回の定時総会は、6月8日(土)の11時から、会場は初めての大和市渋谷学習センターで、河口専務理事をはじめ多くの来賓を迎えて開催した。出席者は来賓を含めて120名と、目標の100名を超える盛況であった。



<吉川代表の挨拶>

議事に先立ち吉川代表からは、次の趣旨の挨拶があった。

- (1) 24年度のナルク横浜は、会員の努力で会員数、預託点数の何れの面でも増加しており、活動が活発であった。
- (2) 満1年を迎えたサロン活動は、同好会も増えて活況を呈している。
- (3) 東北地震の復興支援活動では、仮設住宅を訪問し、手作り品の販売にも取り組んだ。

来年の5月、仙台で開催されるナルク20周年記念大会には、大勢の皆さんに参加してもらって成功に導きたい。

- 続いて河口専務理事から、
- (1) 来年創立20周年を迎えるナルクの総会を、5月26日(月)会員1,000名に集まってもらい仙台で開催することが決定している。
- (2) 今後のナルクの新たな目標として、団塊の世代を会員に取り込み、また会員一人ひとりが勧誘に努め、現在の会員数、拠点数を倍増させたい。

議事では福江事務局長から、多くの写真を取り入れプロジェクトで、昨年度の活動経過報告があり、上菌会計からは決算報告がなされた。

続いて、代表から25年度の活動方針、会計から予算案の提案があり、質疑応答のあと全議案が拍手で承認された。

<25年度の活動方針>

- ① ほっとサロンを活用しよう
- ② 孤立を無くそう
- ③ 地域に根ざした活動
- ④ 楽しいブロック交流会に
- ⑤ 共に学ぼう
- ⑥ 本部、神奈川・東京拠点との連携強化

最後に、事例発表では北ブロックの女性3名から「2年間にわたる子育て支援の経過」が紹介された。

<新任委員の紹介>

- 副代表: 西崎 史郎
- 運営委員: 須藤 直枝
谷村 勝彦



<パラソル喫茶の様子>

<ロビーでの復興コーナーと会員の作品展示>

ロビーでは、宮城拠点から借用したパラソルを中心に「復興コーナー」を設けて、チャリティー用の仮設住宅での手作り品やコーヒーの販売を行なうと共に、多くの会員の作品が展示された。



<作品展示コーナー>



<120名の出席会員>

やさしさも
楽しさもある
ナルク横浜



5月度末会員数:454名、(男性:204、女性:250)

ブロック	預託時間点数			
	3月	4月	5月	合計
横浜北	169	157	149	475
横浜中央	73	63	79	215
横浜西	267	265	312	844
湘南	36	34	31	101
合計	545	519	571	1635

『副代表就任にあたって』

西ブロック 西崎 史郎

昨年1年間、西ブロックの交流会資料の作成やイベントに携わり、やよい台「仁」のコーディネーターと3つの同好会の世話人を務めて来ました。

これらの経験を生かして、今後、ナルク横浜の副代表として協調性を大事にし、積極的に参画して行きたいと思えます。諸先輩皆様のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



『運営委員をお引受けして』

西ブロック 谷村 勝彦

平成24年7月に入会、1年未満で組織をまだ熟知していませんが、運営委員就任の要請を受けて、お引き受けすることにしました。

運営委員として、組織の調和に心掛け、お互い様の気持ちで皆様のお役に立てるよう活動する所存です。

皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い致します。



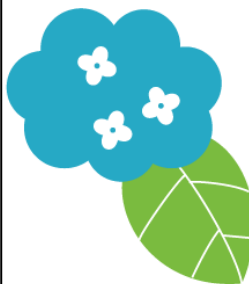
『新運営委員としての抱負』

西ブロック 須藤 直枝

ナルクに入会して2回目の桜を見ました。右往左往しながら皆様のお力を得て活動してきましたが、このたび運営委員のお話があり困惑しています。

経験も実績もない自分に何ができるのか

と自問自答しているうち胃が痛くなりましたが、運営委員や会員の皆様のお力沿いをいただいて、仲良く、楽しくナルクの発展に微力を尽くしたいと思っています。よろしくお願い致します。



ほっとサロンでの同好会活動



★囲碁・将棋同好会（碁友会）

『一から教えてくれるのであれば昔からやりたいと思っていた---』、一歩踏み出せないまま躊躇されている方、初心者も経験者も関係なく興味のあることには奮って参加しましょう！

◎定例会：毎月第2火曜日 13時～16時

◎会費：お菓子代 100円徴収

◎世話人：西崎 史郎（電話/FAX:045-801-1044）



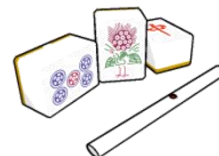
★健康麻雀同好会（雀友会）

『賭けない、飲まない、吸わない麻雀って環境が良さそうよ』『男は毎週末に朝帰りしてたよねえ---。今度は女同士で楽しみましょうよ---』女性優先の同好会です。どしどし参加しましょう！

◎定例会：毎月第4火曜日 13時～16時

◎会費：お菓子代 100円徴収

◎世話人：西崎 史郎（電話/FAX:045-801-1044）



新入会員のみなさんを紹介(敬称略)

～ 2013年2月・3月・4月～

〈北ブロック〉

小山 房枝 緑区三保町
 西山 賢一郎 青葉区奈良町
 八川 京子 町田市原町田
 藤本 昌代 豊田市柘塚西町

〈中央ブロック〉

真砂野 由喜子 保土ヶ谷区境木

〈西ブロック〉

木坂 稔子 泉区和泉町
 安藤 百合子 旭区上川井町
 今井 正俱・邦子 旭区鶴ヶ峰
 小山 志郎・静子 旭区川島町

〈湘南ブロック〉

穂山 孝・節子 藤沢市大鋸

新しく入会しました! ----- 私のひとこと

西ブロック 野村 勉 さん

2年前から「ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部(NKF)」に属し、福祉施設を利用される方々の適切な選択に資するよう、施設のサービス状況の調査を行っています。

NKFの調査員にはナルクの会員が多く、これまで活動状況をお聞きしていたことに加え、昨年亡くなった母が生前ボランティアの方々からお世話になった恩返しが多少なりともできればと入会しました。当面、NKFの評価調査業務との兼ね合いで活動させていただきたいと考えています。

湘南ブロック 穂山 孝 さん

この度、金井さんのお誘いをうけ3月に入会いたしました。まだ交流会に2度参加したのと、新入会員説明会に出席したのみで、右も左も分かりません。NPO法人で全国組織、阪神淡路大震災の前年に設立されたとのこと、同好会活動もあり、設立時の理念に賛同できたこと、また夫婦で入会できたこと、会員の皆様方が生き生きとしていて全てウェルカム仲間ですよとの思いを強く感じ、これからの活動にも肩の力を抜いて長いお付き合いをしていきたいと思ひます。

ボランティア体験談



子育て支援に携わって

北ブロック 吉田ふ志子

パパは日本人、ママはフィリピン人。3人兄弟の末っ子のマア君は1歳10か月で、今年からお兄ちゃんは1年生、そして2番目の兄ちゃんとマア君は保育園へ。



出会った頃のマア君はおとなしくママが迎えに行き抱っこするとすぐ寝てしまう手のかからない子でした。テレビが大好きで子供番組で歌が流れてくると直ぐ飛んできて見えています。

ママは「3人目は女の子がほしかったの」と言われるように、マア君は色白で髪を肩まで伸ばし、どこから見ても女の子のよう。

でも、お兄ちゃん達の影響か、いたずらっ子で喧嘩してもやり返す元気な男の子です。これからも孫の成長を見るように見守って行きたいと思っています。

会員のみなさんに、ボランティアの体験談を伺ってみました!

グループホームの遠足に同行

西ブロック 小林ちかね

梅雨入りしたばかりの6月2日、グループホーム「ミモザ横浜いずみ」から、遠足のお手伝いの依頼があり2名で参加しました。

ワゴン車3台に利用者、家族、スタッフの総勢21名が乗り、食料や車椅子などを積み込んで、二俣川近くの「大池公園」に出かけた。

普段 車での外出に慣れない利用者さんには、車酔いをする方もいたがすぐに回復、藤棚の下で早めの昼食にし、皆でにぎやかに弁当を食べた。その後は、公園内の散策とモルモットなど小動物との触れ合い、遊んでいる子供に話しかける体験もして、午後3時頃、緑の多い「大池公園」を後にしました。



利用者、スタッフが共に日常生活から離れてリフレッシュする有意義な一日を、皆さんのお手伝いをしながら一緒に楽しみました。

『5月度の歩こう会』



5月15日、三浦半島の先端に位置する「城ヶ島」への歩こう会は晴天に恵まれ、10時に京急の三崎口に集合してバスで城ヶ島大橋

まで行きました。

参加者18名の多くは女性で、徒歩で渡った橋の上からの絶景と白秋の「城ヶ島の雨」で有名な碑を見下ろし、磯の香と磯特有の花が咲く島内の散策コースを巡りました。

城ヶ島公園からは海岸に出て、自然が作り出した「馬の背洞門」で集合写真を撮った後、歴史ある灯台の下でお弁当組、レストラン組に分かれて昼食をとる。

午後は目と鼻の先にある三崎港まで渡し舟に乗り、海鮮市場では各自思い思いのお土産を買いました。往路ではJRのトラブルもあったが、距離約6キロの楽しい歩こう会でした。

西ブロック 山崎きみ子



歩こう会のご案内

7、8月度は、歴史講座「NHK 大河ドラマ八重の桜」、幕末から維新、そして昭和へ、山本八重が生きた動乱の時代をたどる。

●7月度：第1部「幕末から維新を駆け抜けた烈女山本八重」

日時：7月6日(土)、14～16時
会場：市民活動支援センターみなくる
問い合わせ：仲摩 (0466-87-8840)
：西野 (045-933-6205)

●8月度：第2部「ハンサムウーマン新島八重」

日時：8月3日(土)、14～16時
会場：市民活動支援センターみなくる
問い合わせ：仲摩 (0466-87-8840)
問い合わせ：西野 (045-933-6205)

●9月度：大磯城山公園から六所神社へ

日時：9月19日(木)、雨天中止
集合場所：JR大磯駅改札出口
集合時間：午前10時(解散：15時頃)
問い合わせ：和田 (0467-57-0877)

●10月度：おおりり一泊旅行・日光湖畔亭

日時：10月8日(火)、9日(水)
集合場所：横浜駅西口天理ビル前、7:50分
問い合わせ：西野 (045-933-6205)

詳細は別途後報

〈川柳〉

ハマっ子広場

*ひまわりは誰にでもいい顔を見せて

*確執へ花はたまって散っていく

小 道

〈俳句〉

*夏めくやゴーヤの背丈五寸のび

京 子

*筍が顔出しそうな風吹きぬ

ちか ね

*桜桃忌ひとごみを縫い花を置く

皓 旦

*新学期親子ともども学び舎に

準 幸

あとがき 「アベノミックス」の影響で円は値下がりし、まだ身近には感じられませんが、景気回復傾向にあるようです。又もう一つの明るいニュースとして、富士山が世界文化遺産に登録されること、かつて世界自然遺産に登録を試みましたが希少動植物が少なく、また大量のゴミの存在が問題視され断念。地元の人達の努力で山麓は清浄され、世界文化遺産として申請されたわけです。なお、懸案だった三保の松原が、その後追加されたのも嬉しいニュースです。今後、外国人観光客が増えることも期待されます。

編集委員 金井 明



総会後の懇親会盛り上げる !!

北ブロック 中尾 保子

懇親会は真砂野さんの司会、荒井副代表の挨拶でスタートした。出席者は、会員外のアトラクションへの参加者も入れ 150 名を超え、会場は熱気に包まれた。

また会場外のロビーでは、サロン委員会による復興コーナーが盛況で、コーヒーの販売や募金など、東北復興支援にも成果があった。

今年の懇親会で新たに採り入れたアトラクションの最初は、①西ブロックの田中康治さん（西川流號流水）の尺八で、吹奏しながら入場・会場から登壇、舞台では西川史郎さんが演ずる妖艶な花魁との共演で尺八演奏に華を添える。



次は、②男性ヘルパーに由来する「ダンヘル」の皆さんによるコーラス、平成 10 年の結成で平均年齢が喜寿の皆さんによるエネルギッシュな声、息の合ったハーモニーを楽しんだ。



3 番目は、③ナルク横浜の有志（渡部雄吉さん・小中隆さん・西崎史郎さん・吉川武さん）による「どじょうすくい」で、大いに笑い会場内は和やかな雰囲気にも包まれた。



後半は、④高橋光子先生の指導を受けた、「ららの会（西ブロック同好会）」の女性コーラス、懐かしい曲目に遠い昔に思いをはせた方も多かったのでは？



そしてトリは、⑤「アシノ・マンドリン・アンサンブル」による数々の名曲の演奏には心に浸みるものがあつた。最後は会場内全員で「花は咲く」の大合唱で全ての演目を終了した。



次々繰り広げられる催しに笑いあり、感嘆の声あり、また一緒に口ずさんだりと舞台にくぎ付けの楽しい 2 時間だった。

親睦会の最後は、吉川代表の挨拶で幕を閉じた。



ナルク湘南ブロックアンケート結果

湘南ブロック 棟保 積彦

湘南ブロックの「活動の課題をつかみ」、「今後の方向付けを行う」目的でアンケートを実施しました。
対象32世帯・会員48名のうち31世帯・40名の会員から回答を頂きました(回答率:世帯97%、会員83%)。

Q1-1	世帯の人数	1人住まい: 8人	2人住まい: 20人	その他: 10人
Q1-2	県内に兄弟・子供の有無	いる: 26人	いない: 12人	

「日常生活」

Q2-1	あなたの日常生活は?	仕事に従事: 15人	無職: 23人
------	------------	------------	---------

Q2-2 仕事についていない(23名)方は何をされているか(複数回答)



「湘南ブロック活動への要望」(複数回答)

Q3	会員相互交流の場をもっと多く企画して欲しい	7名
	各種講座や施設見学等見識を深める企画をして欲しい	10名
	会員相互支援・援助ができる運営を強化して欲しい	6名
	機関紙やブロック活動報告など情報活動提供でよい	5名

「ナルクの支援を受けること」

Q4-1	ナルク利用への希望?	ある: 12人	ない: 23人	無回答: 5人
------	------------	---------	---------	---------

Q4-2 あると答えられた方は、それはどんな内容でしたか?



Q4-3	その時ナルクへ利用申込みをしましたか?	申し込んだ: 4人	申し込まなかった: 8人
------	---------------------	-----------	--------------

Q4-4 申し込まなかった理由?(複数回答)



「支援活動をするることについて」

Q5	できることで都合が合えば協力できる	16名	無回答	9名
	健康・家庭事情などで協力できない	15名		

「月例交流会について」

Q6	魅力ある内容であれば参加したい	10名	その他	6名
	健康・家庭事情などで参加できない	8名		
	会場が遠く参加しにくい	1名		
	交流会にはあまり興味が無い	7名		

【アンケート結果を踏まえた今後の取り組み】

- ① 「相互助け合い」は会員間の面識を深め信頼感の醸成が不可欠であり、交流の場の提供強化を図る。
- ② 月例交流会に各種講座や施設見学、諸行事開催など触れ合い・相互理解の場の提供を強化する。
- ③ 利用申込窓口の明確化・手続きの簡素化などを会員に周知徹底する。
- ④ 「都合により支援してよい」人の内容を、運営委員間で共有しコーディネートの有り方を含め今後活かす。